2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月13日

上場会社名　　日本プラスト株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　7291　　ＵＲＬ　https://www.n-plast.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）時田　孝志
問合せ先責任者　（役職名）執行役員　経営企画本部長　（氏名）青木　智彦　　ＴＥＬ　0544-58-9080
半期報告書提出予定日　　2026年11月13日　　配当支払開始予定日　2026年12月14日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：有（動画配信を予定しております）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	60,106	7.1	1,130	6.6	699	△18.4	363	△67.6
2026年３月期中間期	56,137	△6.9	1,060	△30.4	856	△34.4	1,122	40.2

（注）包括利益　2027年３月期中間期　2,130百万円（－%）　2026年３月期中間期　△793百万円（－%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	19.30	－
2026年３月期中間期	59.11	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	86,169	39,213	45.5
2026年３月期	85,450	37,503	43.9

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　39,213百万円　2026年３月期　37,503百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	－	10.00	－	20.00	30.00
2027年３月期	－	12.50			
2027年３月期（予想）			－	12.50	25.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	118,000	2.7	2,400	△9.4	2,000	△20.0	1,600	△20.5	84.75

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：無

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料Ｐ．８「２．中間連結財務諸表及び主な注記（３）中間連結財務諸表に関する注記事項（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①	会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：無
②	①以外の会計方針の変更	：無
③	会計上の見積りの変更	：無
④	修正再表示	：無

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	19,410,000株	2026年３月期	19,410,000株
② 期末自己株式数	2027年３月期中間期	609,471株	2026年３月期	531,060株
③ 期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	18,823,193株	2026年３月期中間期	18,980,273株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料Ｐ．３「１．経営成績等の概況　（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況…… 2
（２）当中間期の財政状態の概況…… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における当社グループを取り巻く環境は、中国市場における日系自動車メーカーの販売苦戦や米国の関税措置による影響に加え、中東情勢の緊迫化等の地政学リスクが継続しました。さらに、主要顧客である自動車メーカー各社の抜本的な戦略見直し等、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当中間連結会計期間における売上高は、中国・東南アジアでの減産を日本・北米での増産等でカバーし、前年同期比7.1%増の60,106百万円となりました。損益面では、北米・中国・アジアでの減益を日本での増益でカバーし、営業利益は、前年同期比6.6%増の1,130百万円、経常利益は、前年同期比18.4%減の699百万円となりました。また、親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期比67.6%減の363百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

①　日本

国内の売上高は、既存車種の増産及び販売価格改定等により22,513百万円と前年同期に比べ2,525百万円（12.6%）の増収となりました。セグメント利益は、賃金上昇はあったものの、増収影響及び合理化による利益改善等により1,241百万円（前年同期は23百万円のセグメント利益）となりました。

②　北米

北米の売上高は、金型売上減少等はあったものの、既存車種の増産及び為替影響等により32,533百万円と前年同期に比べ2,806百万円（9.4%）の増収となりました。セグメント利益は、増収影響及び合理化による利益改善はあったものの、金型売上の減少及び米国の関税措置影響によるコスト増加に加え、賃金上昇等により137百万円と前年同期に比べ560百万円（△80.2%）の減益となりました。

③　中国

中国の売上高は、日系自動車メーカーの販売苦戦の影響等により3,587百万円と前年同期に比べ951百万円（△21.0%）の減収となりました。セグメント損失は、合理化による利益改善はあったものの、減収影響及び人員体制の見直しに伴う費用計上に加え、想定以上の減産による生産効率の悪化等により604百万円（前年同期は198百万円のセグメント損失）となりました。

④　東南アジア

東南アジアの売上高は、得意先の減産影響等により1,471百万円と前年同期に比べ411百万円（△21.8%）の減収となりました。セグメント利益は、合理化による利益改善はあったものの、減収影響等により390百万円と前年同期に比べ175百万円（△31.0%）の減益となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

（資産）

当中間連結会計期間末における資産合計は、86,169百万円となり、前連結会計年度に比べ718百万円増加しました。これは投資有価証券の増加847百万円が主な要因であります。

（負債）

当中間連結会計期間末における負債合計は、46,955百万円となり、前連結会計年度に比べ990百万円減少しました。これは流動負債のその他に含まれる前受収益の増加3,868百万円、短期借入金の減少3,151百万円、支払手形及び買掛金の減少1,675百万円が主な要因であります。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産合計は、39,213百万円となり、前連結会計年度に比べ1,709百万円増加しました。これは為替換算調整勘定の増加1,218百万円、その他有価証券評価差額金の増加582百万円が主な要因であります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期通期の連結業績予想につきましては、現時点においては2026年５月８日に公表の業績予想値より変更はございません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,855	13,889
受取手形及び売掛金	17,559	17,216
製品	1,605	1,502
仕掛品	1,115	1,012
原材料及び貯蔵品	12,566	12,383
その他	3,555	4,082
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	50,254	50,083
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,146	9,434
機械装置及び運搬具（純額）	8,997	9,310
工具、器具及び備品（純額）	3,221	3,296
土地	3,610	3,628
その他（純額）	3,431	2,925
有形固定資産合計	28,407	28,595
無形固定資産		
その他	435	510
無形固定資産合計	435	510
投資その他の資産		
投資有価証券	3,959	4,807
繰延税金資産	92	103
その他	2,308	2,076
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	6,352	6,979
固定資産合計	35,196	36,085
資産合計	85,450	86,169

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,834	9,159
短期借入金	17,025	13,874
１年内返済予定の長期借入金	3,064	3,311
未払法人税等	100	317
賞与引当金	1,409	694
役員賞与引当金	30	18
製品保証引当金	174	156
その他	5,304	9,011
流動負債合計	37,945	36,542
固定負債		
長期借入金	5,469	6,190
繰延税金負債	1,722	1,957
退職給付に係る負債	1,785	1,748
役員株式給付引当金	108	120
製品保証引当金	67	69
その他	847	326
固定負債合計	10,001	10,412
負債合計	47,946	46,955
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,206	3,206
資本剰余金	5,213	5,213
利益剰余金	20,252	20,230
自己株式	△249	△285
株主資本合計	28,423	28,365
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,048	2,630
為替換算調整勘定	6,428	7,646
退職給付に係る調整累計額	603	570
その他の包括利益累計額合計	9,080	10,848
純資産合計	37,503	39,213
負債純資産合計	85,450	86,169

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	56,137	60,106
売上原価	50,686	54,038
売上総利益	5,450	6,068
販売費及び一般管理費	4,389	4,937
営業利益	1,060	1,130
営業外収益		
受取利息	53	15
受取配当金	63	65
投資不動産賃貸料	32	32
持分法による投資利益	2	0
為替差益	37	－
固定資産売却益	47	2
償却債権取立益	－	48
その他	36	35
営業外収益合計	273	201
営業外費用		
支払利息	436	374
為替差損	－	141
その他	41	116
営業外費用合計	477	632
経常利益	856	699
特別利益		
製品保証引当金戻入額	323	－
投資有価証券売却益	109	－
特別利益合計	432	－
税金等調整前中間純利益	1,289	699
法人税等	167	335
中間純利益	1,122	363
親会社株主に帰属する中間純利益	1,122	363

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	1,122	363
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	259	582
為替換算調整勘定	△2,161	1,218
退職給付に係る調整額	△13	△32
その他の包括利益合計	△1,915	1,767
中間包括利益	△793	2,130
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	△793	2,130

（３）中間連結財務諸表に関する注記事項

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

税金費用の計算

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益又は税引前中間純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（セグメント情報等の注記）

Ⅰ　前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				合計
	日本	北米	中国	東南アジア	
売上高					
外部顧客への売上高	19,988	29,726	4,538	1,883	56,137
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,428	7	352	5,008	7,796
計	22,416	29,733	4,891	6,891	63,934
セグメント利益又はセグメント損失（△）	23	698	△198	565	1,088

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	1,088
セグメント間取引消去	△28
その他の調整	0
中間連結損益計算書の営業利益	1,060

Ⅱ　当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				合計
	日本	北米	中国	東南アジア	
売上高					
外部顧客への売上高	22,513	32,533	3,587	1,471	60,106
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,790	14	459	5,417	8,682
計	25,304	32,547	4,047	6,889	68,788
セグメント利益又はセグメント損失（△）	1,241	137	△604	390	1,165

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	1,165
セグメント間取引消去	△35
その他の調整	1
中間連結損益計算書の営業利益	1,130

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）
該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）
該当事項はありません。